



# 南アフリカ共和国からの便り



南アの人たち 編

2019年度青年海外協力隊  
赤塩健太 小学校教育 特別号

データでみると、危険を感じる南アフリカ。私も日本を離れる前は、南アに対してとても怖いな、という印象を持っていました。ですが、今は違います。なぜか。ここで暮らして、様々な人を見たり、実際に話したりしたからです。世界の国々と比べても多くの犯罪が起こる南アでも、この人たちは、普通に暮らしています。ほとんどの人は本当に素敵な人たちです。

## とにかく明るく社交的！

目が合ったら挨拶！「元気ですか？」「変わりない？」と聞き合います。「元気だよ」や「何の不満もないね」、「今日はとっても穏やかだよ」など、かえす言葉のバリエーションは豊富です。みんな、初めて会った人でも、どんどん話しかけます。



気さくに話しかけてくれる近所の子ども達。

## すぐに友達！

バーベキュー好きな南ア人。近所で、よく家族や友達同士バーベキューをしています。すると、通りがかった私に「一緒にどう？」と声を掛けます。もちろん初対面です。「食べて！食べて！」とご飯をすすめてくれて、ひとしきり話すと「またいつでも来て」と言ってお別れです。「食べたんだから、何か…」といった見返りを求める気持ちはありません。

私の移動手段は徒歩か乗り合いタクシーです。自宅から歩いて買い物行こうとすると、近所の人がよく声をかけてくれます。「どこ行くの？方向が一緒なら乗ってきなよ！」車内での犯罪が多い国なので、さすがに断ります。ですが、多くの人は親切心から言っているのでは、と思っています。

## しつこくない、騙す気ない！

海外旅行へ行くとよく「高いものを買わされた！」「しつこく物を売られた！」という話をよく聞きます。しかし、私は南アでこれらを経験したことがありません。買い物するとき店員に「見ているだけです」と一言いえば、「何か困ったら声かけてね」と一言告げられておしまいです。また、どの乗り合いタクシーに乗っても、料金はほとんど変わりません。変わっても数円違うくらいです。「地元の人じゃないので分からないんだ」と言うと親切に色々なことを教えてくれます。

## 良いと思った情報はどんどん渡す！

私が町のバスターミナルで、自宅へ帰るための乗り合いタクシーつかまえようと、待っていた時のことです。そのバスターミナルは町の外れにあるので、タクシーをつかまえたくてもほとんど通っていません。数分で来るのか、1時間かかるのか、気長に待とう、そんな風に思っていました。5分待っていると、「タクシーを待っているの？」と近くのお店の人が話しかけてきました。そう

だと分ると、すぐに自分が使っているタクシーの電話番号を教えてくださいました。「ここならすぐ来てくれるし、おすすめだよ」と。ほとんど待つことなく、すぐに帰宅することができました。

お店で買い物をしていたときのことです。ある商品が「3つ買えば1つ無料」になっていました。私は1つで十分だったので、1つ手にとり、レジへ向かおうとしました。すると、近くのお客さんが「君！これは3つ使えば1つ無料だよ！！1つでいいの！？」と教えてくださいました。きっとそのお客さんは、私が気付いていないのでは、と思ったのだと思います。

## 乗り合いタクシーは親切心の集まり！

乗り合いタクシーのドライバーは基本、運転、行き先や運賃の管理など全て一人で行っていきます。一台に15人近く乗っているのでも、料金を集めるのもとても大変なはずですが、料金は見ず知らずの乗客同士が集め合います。後ろに座っている人の行き先、運賃を伝言ゲームのように運転手に伝えてお金を回します。またお釣りがなるべく出ないように、乗客同士と一緒に払ったり、お釣りを渡し合ったりします。ドライバーからお釣りが間違っって多く渡されると、自然とドライバーに戻ってきます。

荷物が多いお客さんもいます。そのときは、荷物の少ない人が何も言わず、持ってあげます。持ちましょうか？」の声もなく、自然と手を差し伸べます。こんな親切がタクシーの中では当たり前です。ぎゅうぎゅう詰めで決して快適とは言えませんが、不満を言う人は誰もいません。とても温かい気持ちになります。

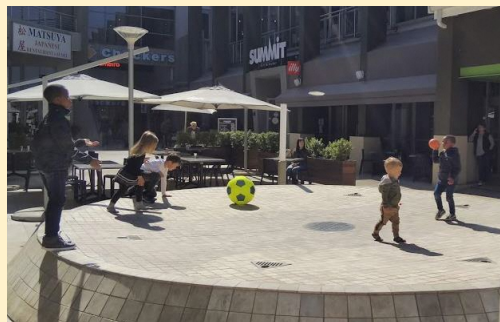


この男性の持っている荷物は、全て知らないおばちゃんのもの。

## 聞いた話…いじめがない？

学校で活動している隊員に話を聞くと、「いじめがない」という話を聞きます。よくケンカはあるし、ポツンと一人にいる子もいるそうです。しかし、ケンカの後は何事もなかったかのように過ごしていたり、一人でいてもすごく楽しそうだったりするそうです。ここからは私の推測ですが、黒人白人アジア人など様々な人種の人々がいて、様々な言葉があって、留年もあるため様々な年齢の人と関わる機会があります。そのため、まわりのほとんどの人は自分と違う見た目、文化、変考え方の人ばかりです。他人の全てを認めて、理解できないことは遠慮なく口に出す。ときにはケンカ。それが、いじめがない（少ない）理由なのではないかなと考えます。

30年ほど前まで、法律で差別が認められていた国です。現在、子ども達をはじめ、人々がお互いを認め合える関係になりつつあることをとてもうれしく思います。私は南アでは珍しいアジア人なので、ジロジロ見られることはありますが、差別などで嫌な思いをしたことはありません。日本人の私自身、学ぶべき姿がまわりにあふれていると思う日々です。活動先が強盗被害にはあいましたが、国全体が様々なことを乗り越えながら、成長している最中だと思っています。



様々な人種の子も達と一緒に遊んでいる。